

## 大岡信ことば館企画展

## 「大岡信の万葉集展 家持と女たち」

2012年11月6日（火）～2013年2月24日（日）

## ■開催趣旨

本展はシリーズ企画「大岡信の万葉集展」の第四回目です。第一回目では、初期万葉時代の皇族たちの歌を中心に、神話的世界、古代の愛と死の世界を紹介しました。第二回目では、大陸から伝来した漢字を駆使して、日本語による詩の表現を築きあげた柿本人麻呂に、第三回目では、人麻呂以後のヤマト文学の発展をになった大伴旅人と山上憶良にスポットをあてました。そして第四回目では、大伴家持をとりあげます。

『万葉集』には、額田王をはじめとして、天平時代に活躍した大伴坂上郎女らにいたるまで、多くの女性歌人の歌が残されています。その多くは恋の歌。それは、時を超えて現代の心に響いてきます。——和歌は、和する歌。人の声に合わせ応じ、心を合わせて和らぐ歌。和歌がこのようなものであったことは、和歌の担い手の多くが女性であったことと深く関わっている、と大岡信は言っています。

家持は、数十年の歳月を重ねた『万葉集』全二十巻の編纂過程の、最後の締めくくりに深く関わった詩人。巨大な宇宙のような人麻呂の歌も、名もない東国出身の防人の歌も、家持を取り巻く女性たちの私的な恋の歌も、すべて家持の手を経て、私たちのもとの届いたわけです。

『私の万葉集』のあとがきに、大岡信はこう記しています。「これはまあ、万葉集に対する私流の友情披瀝の本、あるいは相聞歌であると言ってもいい」と。『万葉集』をめぐる大岡信のことばが、私たちの胸にすんと飛び込んでくるのは、それが時を超えて万葉のことばと和している、いわば恋文だからなのかもしれません。

家持と天平の女性たちの恋歌の森へ——大岡信ことば館よりご案内します。

## 記

## ■開催概要

- 【展覧会名称】 大岡信の万葉集展 家持と女たち
- 【会期】 2012年11月6日（火）～2013年2月24日（日）
- 【主催】 株式会社増進会出版社 大岡信ことば館
- 【開催場所】 大岡信ことば館  
〒411-0033 静岡県三島市文教町 1-9-11  
TEL:055-976-9160/FAX:055-989-1360  
<http://www.zkai.co.jp/kotobakan/>  
E-mail:kotobakan@zkai.co.jp

- 【展示内容】 『万葉集』の中から、大伴家持と、彼と関係する女性たち（坂上郎女、笠女郎、紀女郎、坂上大嬢）の歌、また、それらに呼応するような大岡信の詩をあわせて、空間の中に造形的に展示します。
- 【開館時間】 午前 10 時～午後 5 時（入館は午後 4 時半まで）
- 【休館日】 月曜日／12 月 28 日（金）～1 月 4 日（金）
- 【入館料】 大人・大学生 500 円  
学生（小～高校生） 100 円  
65 歳以上 200 円  
団体（20 名以上） 2 割引  
未就学児 無料  
障害者手帳ご提示の方およびその付き添いの方 1 名 無料
- 【主催】 大岡信ことば館
- 【共催】 静岡新聞社・静岡放送
- 【協賛】 株式会社 Z 会、第一三共株式会社、伊豆箱根鉄道株式会社、みしまプラザホテル
- 【後援】 静岡県教育委員会、三島市教育委員会、沼津市教育委員会、長泉町教育委員会

## ■ 大岡信プロフィール

1931 年、三島市生まれ。詩人。歌人大岡博の長男。父と窪田空穂の影響で、沼津中学時代に作歌・詩作を行う。旧制第一高等学校文科から東京大学文学部国文学科卒業。在学中に『現代文学』を創刊する。卒業後は、「シュルレアリスム研究会」を結成、詩誌『鰐』を創刊する。また、茨城のり子、谷川俊太郎らの詩誌『權』に参加し、後に連歌から発展させた連詩を実践する。読売新聞外報部勤務を経て、明治大学・東京芸術大学の教授をつとめた。1979 年から朝日新聞で 29 年間連載したコラム「折々のうた」は代表的な仕事のひとつ。詩と批評を中心に著書多数。ジャンルを超えた芸術家との交流も多く、ことばを通して多様な表現活動を行っている。文化勲章（2003 年）、レジオン・ドヌール勲章（2004 年）受章。日本芸術院会員。

## ■ 会期中イベント

ふじのくに子ども芸術大学講座「能の世界を楽しもう！」

講師：九世観世鏡之丞

日時：11 月 25 日（日）13:30～15:30

料金：無料

対象：小学 4 年生以上

定員：先着 30 名

会場：大岡信ことば館

## いけばなワークショップ（大人クラス／子どもクラス）

講師：福島光加（草月流師範会理事）

◇大人クラス◇

日時：12月16日（日）10:00～12:00

料金：3500円

対象：高校生以上

定員：10名程度（定員に達し次第締切り）

◇子どもクラス◇

日時：12月16日（日）14:00～15:30

料金：1500円

対象：小学生以上

定員：先着20名程度（定員に達し次第締切り）

## 箏による新春コンサート

出演：三島北高校箏曲部・草間路代（山田流箏曲演奏家・同校箏曲講師）

日時：1月14日（月・祝）11:00～12:15

会場：大岡信ことば館

※申し込み不要（要ことば館入館券）

## 展覧会関連座談会

講師：福島光加（草月流師範会理事）

日時：2月3日（日）14:00～16:00

料金：1000円（含ことば館入館料）

定員：150名

出演：パネラー

金田一秀穂（日本語学者）

品田悦一（上代文学研究者）

米川千嘉子（歌人）

コーディネーター

小島ゆかり（歌人）

※各イベントの内容やお申込の方法などにつきましては、大岡信ことば館ウェブサイト（<http://www.zkai.co.jp/kotobakan/>）のトップページや「イベント情報」ページも合わせてご参照ください。

### 【問い合わせ】

住所 静岡県三島市文教町1-9-11 大岡信ことば館

TEL:055-976-9163/FAX:055-989-1360

E-mail:kotobakan@zkai.co.jp

<http://www.zkai.co.jp/kotobakan/>

広報担当：神田茂紀／展覧会担当：中村童子、豊田奈央子